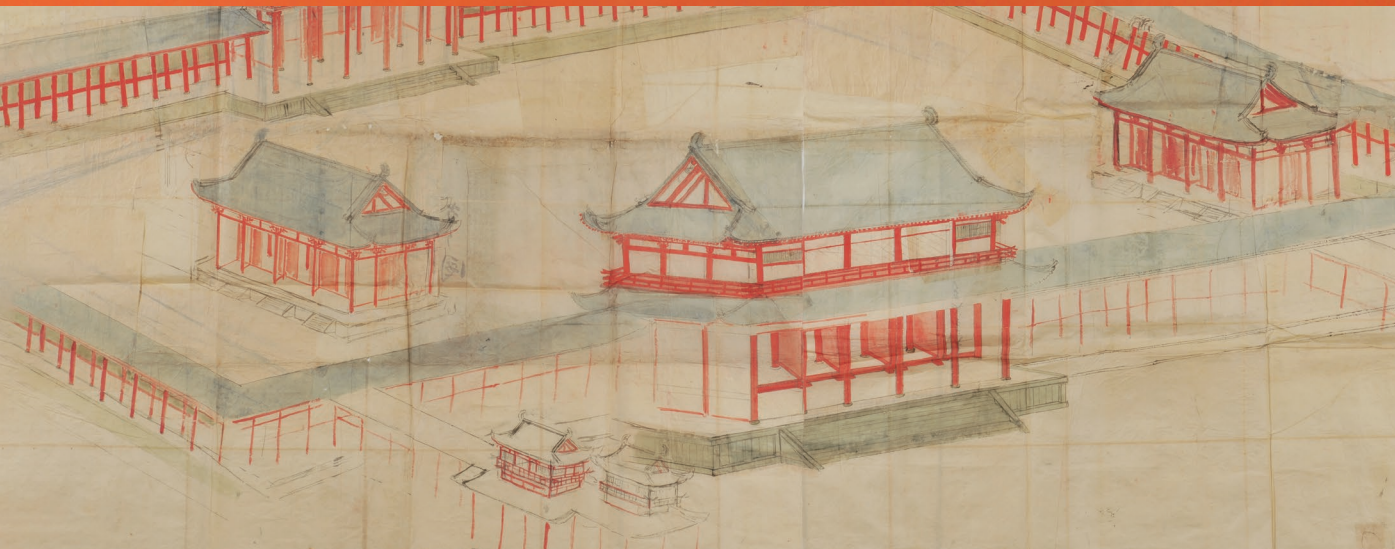


さあ、幕あけの時

大舞台を彩る緞帳

2023.7.3 mon. ~ 2024.9.27 fri.



上から、緞織式緞帳完成予想図「朝の歡喜」吉原治良(1951)、刺繍引幕雲張原画「Dream」海外天年(明治中後期頃)、墨彩刺繍引幕雲張当り図「平安神宮大極殿」今尾景年(1893)。すべて部分

川島織物文化館

<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>



見学ご予約 TEL 075-741-4323

見学は事前にご予約が必要です

〒601-1192 京都市左京区静海市原町265

開館時間 10:00-16:30 (入館は16時まで)

休館日 土・日・祝日/お盆・年末年始

入館料 無料

さあ、幕あけの時 大舞台を彩る緞帳



②

①

今回の創業180周年特別企画は、川島織物セルコンが製作してきた緞帳に迫ります。

緞帳とは、主に舞台と客席を仕切る幕であり、劇場建築の室内装飾を兼ね備え、何より観客を愉しませ休息感を与えたりする大きな役目を担うものです。

ではその昔、当社はいつ頃この緞帳と出会い、製作を開始したのでしょうか。

本展では、川島織物文化館に現存する資料を探り、今尾景年(いまおけいねん 1845-1924)が揮毫(きごう)した構想画や試作をはじめ、海外天年(かいがいてんねん 1860-不詳)直筆の下絵、吉原治良(よしはらじろう 1905-1972)の構想画など初公開作品を中心に展示します。

また普段目にすることの出来ない綴織緞帳の知られざる世界を一部ご紹介する特別展です。

- ① 綴織緞帳原画「京都の春秋」澤部清五郎(1957)
 - ② 引幕草稿画「柳櫻之図」(明治中後期頃)
 - ③ 川島織物堀川工場綴織製織風景(1959頃)
- 鷹は、幕ノ画 草稿画「縁起物」(明治中後期頃)部分

同時開催中

ふわふわクッション

～2023年8月31日(木)

川島織物セルコン創業180周年 特別企画

綴織壁掛 春郊鷹狩

100年を語り継ぐ 断機の綴

～2023年12月26日(月)

川島織物セルコン創業180周年 特別企画

澤部清五郎 生誕140年

川島と歩む 綴織壁掛

～2024年2月2日(金)

作品は展示替により内容が異なる場合がございます。(展示内容についてはお問合せください)

川島織物文化館

KAWASHIMA TEXTILE MUSEUM

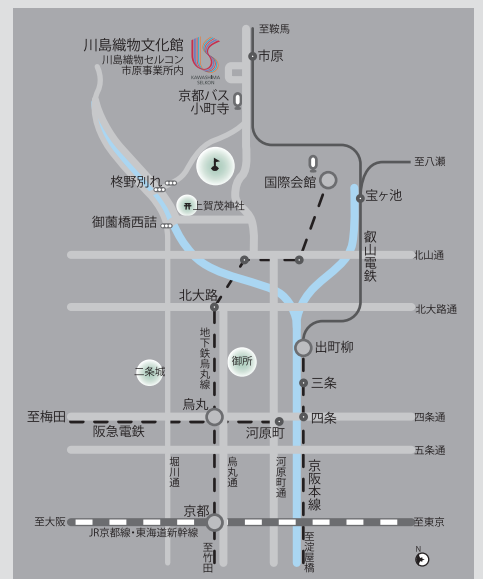
〒601-1192 京都市左京区静海市原町 265
TEL: 075-741-4120

■ アクセス

- 電車・バス
 - ・京都市営地下鉄「国際会館駅」より 京都バス(50/52系統)「小町寺」下車 徒歩約5分
 - ・叡山電車「市原駅」下車 徒歩約7分
- お車
 - ・京都市営地下鉄「国際会館駅」より 約15分
 - ・京阪電車「出町柳駅」より 約25分
 - ・京都駅より 約40分
 - ・名神高速道路「京都東IC」「京都南IC」より約60分



川島織物セルコンHP



見学は事前にご予約が必要です TEL: 075-741-4323

<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>

川島織物文化館は、1843(天保14)年創業のファブリックメーカー、株式会社川島織物セルコンが運営する、国内最古の企業博物館「川島織物参考館」(1889(明治22)年創設)をルーツとする施設です。

株式会社川島織物セルコン

2023.7